※令和４年度以降入学生用

学校番号	3006

令和５年度　理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　物理基礎　（東京書籍）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・計算を多くします。基本的な計算の方法の確認と文字式での計算に慣れておいてください。
・実験には積極的に参加してください。レポートにもしっかり取り組みましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物理的な事物・現象に関する基礎的な知識及び基本的な概念や原理・法則を系統的に理解し、適切な計算方法やグラフを利用することができる。	物理的な知識及び概念や原理・法則を系統的に理解し、数式だけでなくグラフや表を考察することで導き出される結果を的確に表現することができる。	物理学的な方法で自然の事物を取り扱い、観察・実験などを通して物理学的に探求する能力を身につけようとする。また、それらを事象の考察に活用しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	直線運動の世界	速さと速度	a: 物体の運動を表すには、向きが必要であることを理解し、速さと速度の違いを理解している。 b: 物体がどのように運動しているかについて考察し、導き出した考えを適切に表現している。 c: 速さと速度に関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りカード パフォーマンス課題 ノート
		等加速度直線運動	a:加速度の概念を理解し、向きが必要であることや、単位について理解している。 b:等加速度直線運動に関する探究活動を行い、物理的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 c:身近な等加速度直線運動に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。			
2	力と運動の法則	力のつりあい、合成	a:力が大きさと向きを持つ量で、合成はベクトルの足し算であることを理解している。 b: 力のつりあいに関する探究活動を行い、c: 力について関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りカード パフォーマンス課題 ノート
		運動の法則	a:加速度と力、質量の関係、力が加速度の原因になることを理解している。 b: 運動の法則に関する探究活動を行い物理的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 c: 運動の法則について関心をもち、意欲的に探究しようとしている。			
3	仕事とエネルギー	仕事と仕事率、エネルギー	a:仕事やエネルギーに関しての概念および単位を理解している。 b: 仕事やエネルギーに関する探究活動を行い、物理的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 c: 仕事やエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとしている。また、それらの関係を考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	振り返りカード パフォーマンス課題 ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度